

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表：令和元年 5月20日

事業所名 桜の宮ほっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		2階と1階を療育内容に合わせて使い分けしている	
	2	職員の配置数は適切である	○		加配加算を受けられている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			建物の構造上バリアフリーは難しく階段があるが、手すりは設置。不十分な点はマンパワーで補う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日療育終了後に館内清掃をしている。学期ごとに玩具の消毒をしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎月の職員会議とケース会議を実施	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年度ごと自己評価表以外にも独自アンケートを実施している	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	親子参加なので保護者の方より評価は受けている。関係機関	専門的評価を行う外部に依頼を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		積極的に研修機会を設ける。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年に1回は必ず計画を作成。それ以外に随時個別指導を行い課題分析を細かく行	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ポータージェックリストを活用。インリアルアプローチのビデオ分析を行う。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		教室活動での課題と目標設定はもちろん家庭での課題と目標設定や希望を受けて所属集団への支援も行う	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		保護者と確認のもと遂行している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ケース会議・グループ会議にて行う	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		保護者の要望も組み入れて工夫する	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		小集団活動と個別指導の両側面にて行う		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○		療育開始前にミーティングを行う	
	18	○		療育終了後に反省会を行う	
	19	○		日誌を毎日記録する	
	20	○		半年に1回行う	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	○		各利用児ごと担当が決まっておりそのものが参加する	
	22	○		随時必要や要望に応じて関係機関連携を図る	今後の積極的に連携を図っていきたい
	23		○	該当するお子さんがいれば連携を図りたい	対象者がいなかったので前例がないので今後あれば前向きに対応していきたい
	24		○	同上	同上
	25	○		保護者の要望を受け必要に応じて行っている	
	26	○		同上	
	27	○		積極的に研修の機会があれば参加している	助言を受けられる機会があれば現場へのアドバイスも受けたいと望む
	28		○		現在は交流は図れていないので今後どのような活動ができるか検討中
	29	○		都島区の協議会に参加している	
	30	○		親子参加での活動なのでその都度、その場でも話し合っている。必要に応じて懇談時間を設けている。	
	31	○		学習会・経験談・個別指導にて行っている	
	32	○		契約時に十分に時間をとって説明に努めている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時と支援計画作成の懇談を設け保護者と確認を行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別指導、懇談、普段の療育時に時間を設けている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		学習会・グループ会で保護者同士の交流機会を設けている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約や面接時にも説明し、随時要望を受け対応できる関係づくりにも努めている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のお便りを発行	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		保護者とも契約時にお互い確認しあい取り扱いに注意をして	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		細やかに声掛けをし信頼関係を構築できるよう努めている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		利用されている方々の考えや気持ちへの配慮もしつつ慎重に検討したい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアル作成や非常ベルの確認。通報訓練や消防署の方が立会いでの訓練も実施している	全ての利用者の方へ周知が出来ておらず、毎月避難訓練を実施しお便り等にも掲載するよう改善を図る
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的には実施している	同上
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面接時と支援計画作成時ごとに確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者立会いのトド設定あそびをしている	医師の指示書の提示は求めていない。今後更なる丁寧な対応も検討する
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成している。毎月の会議でも確認している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、職員全体で研修をしている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時にも説明し互いに確認をしている。親子参加の教室のため支援者のみで対応するような事はない	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。